

自平成 24 年 4 月 1 日  
至平成 25 年 3 月 31 日

## 平成 24 年度事業報告書

公益財団法人 MR 認定センター

# 平成24年度事業報告書

自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日

## 1.平成24年度事業の実施

平成24年度の事業は、3月21日に開催された公益財団法人MR認定センターの第4回理事会において承認を得た「平成24年度事業計画」に基づき実施した。

## 2. 理事・監事・評議員

### 1) 評議員の変更

6月4日に開催された第2回評議員会において、稲垣明弘評議員の辞任申し出に伴い、富山雅史氏が、庄田隆評議員の辞任申し出に伴い、内藤晴夫氏が評議員として各々選任された。任期は、定款第16条により、前任者の在任期間である平成25年度に関する定時評議員会の終結の時までとなる。

### 2) 理事及び監事の選任

6月13日に開催された第3回評議員会において、任期満了に伴う理事及び監事の選任を行い全員が再任した。任期は、定款第33条により、平成25年度に関する定時評議員会の終結の時までとなる。

評議員会における理事及び監事の選任により、6月13日に開催された第6回理事会において、代表理事(理事長)として高久史磨氏、業務執行理事(専務理事)として小清水敏昌氏を選定した。

### 3) 理事会及び評議員会の開催

#### (1) 理事会

第5回 5月29日(火)(於:「東京會館 LEVEL XXI」オリオンルーム)

- ① 平成23年度事業報告書(案)及び決算報告書(案)を承認した。
- ② 評議員2名の辞任に伴う新たな評議員を選任するための臨時評議員会を、6月4日に第2回評議員会として招集することを決議した。
- ③ 平成23年度事業報告書についての報告、決算報告書(案)の承認、定款の一部変更及び任期満了に伴い役員を選任するための定時評議員会を、第3回評議員会としてみなし決議することを決議した。
- ④ 理事長及び専務理事より職務の執行状況について報告があった。

第6回 6月13日(水)(定款第45条の規定による決議の省略の方法により決議)

- ① 代表理事(理事長)として高久史磨氏、業務執行理事(専務理事)として小清水

敏昌氏を選定した。

第7回 11月28日(水)(定款第45条の規定による決議の省略の方法により決議)

- ① 「役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程」を変更するために、第4回臨時評議員会としてみなし決議することを決議した。

第8回 平成25年1月11日(金)(於:「東京會館 LEVEL XXI」オリオンルーム)

- ① 第19回MR認定試験の結果を承認した。
- ② 第20回MR認定試験について承認した。
- ③ その他事項について報告した。

第9回 平成25年3月18日(月)(於:「東京會館 LEVEL XXI」オリオンルーム)

- ① 平成25年度事業計画(案)を承認した。
- ② 平成25年度収支予算(案)を承認した。
- ③ 特定費用準備資金等取扱規則(案)を承認した。
- ④ 理事長及び専務理事より業務の執行状況について報告した。

## (2) 評議員会

第2回 6月4日(月)(於:「東京會館 LEVEL XXI」オリオンルーム)

- ① 稲垣明弘評議員の辞任申し出に伴い、富山雅史氏が、庄田隆評議員の辞任申し出に伴い、内藤晴夫氏が評議員として各々選任された。任期は、定款第16条により、前任者の在任期間である平成25年度に関する定時評議員会の終結の時までとなる。
- ② その他事項について報告した。

第3回 6月13日(水)(定款第25条の規定による決議の省略の方法により決議)

- ① 平成23年度事業報告書についての報告があり、決算報告書(案)を承認した。
- ② 定款の一部変更(案)を承認した。
- ③ 任期満了に伴う役員の選任(案)を承認した。

第4回 12月18日(火)(定款第25条の規定による決議の省略の方法により決議)

- ① 「役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程」変更(案)を承認した。

## 3. MR認定試験の実施及び認定に関する事業(定款第4条第1号関係)

### 1) 第19回MR認定試験の実施

- (1) 試験実施のため、人材派遣会社社員及び試験会場の大学アルバイト総計297名に試験監督員を委嘱し、これら監督員に試験当日の会場設営と当日の試験監督を依頼した。

- ① 試験日時 12月9日(日)午前9時30分より午後3時50分まで
- ② 試験地 東京、大阪の2地区2会場(学習院大学、大阪工業大学を借用)
- ③ 受験者数

	人数
新規受験者	4,413名
再受験者	736名
受験者計	5,149名
受験申請者数	5,253名

なお、新規受験者は、平成24年度導入教育修了者が中心であり、昨年より503名減少した。

(2) 試験委員会の開催

第23回運営委員会 9月11日

- ① 第19回MR認定試験問題等について検討した。

第25回試験委員会 5月16日

- ① 第19回MR認定試験の作問要領の確認及び提出期限の確認を行った。

第26回試験委員会 平成25年1月11日

- ① 第19回MR認定試験受験者に対する合否についての判定を行った。

(3) 合否の判定

平成25年1月11日開催の第8回理事会で承認を受けた後、1月25日付で受験者に試験結果を通知した。

	合格者数	合格率
新規受験者	3,805名	86.2%
再受験者	380名	51.6%
合計	4,185名	81.3%

(4) 合格基準の公表

合格基準点及び配点並びに正答を公表した。

2) 第20回MR認定試験の準備

第20回試験は平成25年12月8日とし、実施に向けて準備に入った。

- (1) 第20回試験受験案内を平成25年3月28日付で各企業に通知した。
- (2) 試験会場として学習院大学、大阪工業大学から借用できる内諾を得た。

3) MR認定証の発行及び管理

- (1) 第19回MR認定試験合格者への認定証は、申請のあった1,658名に対し、平成25年3月31日までに順次発送した。

また、企業の合併やMRの企業間移動及び認定証の棄損・亡失などの理由により再交付した認定証は、196枚であった。

(2) 不合格者に対しては、再受験科目の管理を行った。

#### 4) MR認定証の更新手続き

MR認定証の有効期限が平成25年1月末日の者を主な対象とし、認定更新を行った。

##### (1) MR認定証の更新と管理

- ① 14,574名のMRから認定更新の申請があり認定した。
- ② MR認定証の更新には5年間の教育研修修了認定が必須のため、MR認定証更新に関する認定研修のデータを具備した「MR教育・試験管理システム(MR O)」を運用し管理した。

##### (2) MR認定証更新に伴う補完教育

- ① 補完教育は、平成24年度からIT(パソコン)方式にて実施した。経過措置期間として平成28年までの5年間は、用紙方式を併用する。
- ② 北里大学薬学部から平成24年度の問題として900問を受領した。精査しCBTに600問搭載した。
- ③ 平成24年度補完教育の受講状況

対象者は、MR認定証の有効期限が平成25年1月末日であり、更新に必要な認定研修を充足できず認定証の更新を希望する者及び、有効期限が平成24年1月末日であり、平成23年度補完教育の受講申し込みができなかった者。

・IT方式 申込数2,273名(企業1,946名 個人327名)

受講者登録数	2,149名 (ID・パスワード発行者数)
未受講者数	63名
受講中者数	91名
合格者数	1,948名
不合格者数	47名(受講期限切れ)

・用紙方式	申込者数	23名
	合格者数	23名

- ④ 平成24年度補完教育については、第3回補完教育小委員会(平成25年3月5日開催)にて検討の上、第39回教育研修委員会(平成25年3月12日開催)に報告した。

#### 5) MRの資質向上等に関する調査研究事業

##### 1) 調査活動

##### (1) MRの実態及び教育研修の現状に関する調査

センター登録 208 社に対し平成 24 年 3 月 31 日時点でのMRの実態及び教育研修の現状についてアンケート調査を行い、「MR白書」(2012 年版)としてとりまとめた。

#### 4. MRに対する教育研修に関する事業(定款第4条第2号関係)

##### 1) 教育研修委員会

第38回委員会(9月18日開催)

- (1)平成23年度教育研修の認定状況について報告し検討した。
  - ・MRの平成23年度教育研修の認定状況について。
  - ・「教育研修システム」及び「教育研修施設」の平成23年度の認定について。
  - ・教育研修認定に関する指導基準に基づく平成23年度の改善指導について。
- (2)平成24年度補完教育の現況について報告し検討した。
  - ・平成24年度補完教育の受講状況について。
  - ・受講結果の反響・IT方式・用紙方式について。
- (3)補完教育受講時のアンケート結果について報告した。
- (4)教育研修施設の平成23年度の教育受託の結果について報告した。
- (5)MR誕生100周年記念事業の実施状況について報告した。

第39回委員会(平成25年3月12日開催)

- (1)平成25年度補完教育受講要項(案)を承認した。
- (2)導入教育「基礎教育」コアカリキュラムの改訂作業について承認した。
- (3)第19回MR認定試験の結果について報告した。
- (4)平成24年度補完教育の結果について報告した。
- (5)MR誕生100周年記念事業の実施状況について報告した。

##### 2) 補完教育小委員会

第2回小委員会(8月30日開催)

- (1)平成24年度補完教育の受講状況の報告し検討した。
- (2)平成24年度受講後のアンケート調査の報告し検討した。
- (3)IT方式・用紙方式の受講状況について報告し検討した。

第3回小委員会(平成25年3月5日開催)

- (1)平成24年度補完教育の受講状況を報告した。
- (2)平成24年度受講後のアンケート調査の結果を報告した。
- (3)平成25年度補完教育受講要項(案)について検討した。

##### 3) 教育研修システムの運用

###### (1) 教育研修に関する認定

「MR教育・試験管理システム」を運用し、教育研修履修の認定を行った。

- ① 教育研修計画書及び実施報告書の企業からの申請に基づき審査を行い、各MRの教育研修履修認定を行った。

	企業数	申請教育研修数	教育研修対象者数
導入教育計画認定	141社	277件	4,575名
同実施報告認定	141社	277件	4,151名
継続教育計画認定	211社	1,008件	81,609名
同実施報告認定	208社	953件	74,345名

- ② 新規に教育研修を開始する企業及び合併する企業からの申請に基づき、教育研修システムの認定を7社行った。一方、業務廃止・企業合併に伴い7社の登録を抹消した。登録企業数は、210社である。
- ③ 新規に教育研修施設の認定を2施設行った。教育研修を受託する教育研修施設は、17社である。
- ④ 計画書の遅延や申請を失念した企業に対して「教育研修認定に関する指導基準」に基づき、改善指導を行った。

・注意 9件

内容:計画書の申請遅延。

措置:口頭にて注意し、一部顛末書の提出を求めて注意した。

・指導 17件

内容:2008-12年度の継続教育計画申請の失念。

措置:対象者の履修証明記録、顛末書の提出を求め、教育研修に関する管理体制を見直し、再構築するよう指導した。

(2)各企業からの教育研修に関する相談について、助言・指導を行った。

#### 4)教育研修管理者講習会の開催

##### (1)教育研修管理者認定講習会

各企業に教育研修管理者1名の登録を義務付けており、新たに教育研修管理者となる者のための講習会を行った。なお、平成24年度より各企業による制度の理解と運用力を高める目的で、企業ごとに複数の管理者を設置可とした。

##### ① 教育研修管理者認定講習会の実施及び認定状況

イ. 会場 東京薬事協会・会議室

ロ. 内容 MR認定センター職員による教育研修要綱等の解説

ハ. 実施及び認定状況

開催日	教育研修 管理者予定者数	再試問 対象者数	教育研修 管理者認定者数
4月11日(水)	30名(6名)	1名	30名
7月11日(水)	21名(11名)	0名	21名
11月6日(火)	26名(11名)	1名	26名
平成25年1月23日(水)	16名(6名)	0名	16名
計	93名(34名)	2名	93名

( )内は、非登録(複数)の教育研修管理者数

② 試問

イ. 実施方法 本年度よりCBT(Webを使ったテスト)

ロ. 出題形式及び判定基準

問題		判定
正誤	40問	正答率90%以上で合格とし、合格するまで実施
穴埋め	10問	
小論文	1問	5段階評価(A B <sup>+</sup> B B <sup>-</sup> C)を行い、B <sup>-</sup> C は不合格とする

(2) 教育研修管理者認定更新講習会

教育研修管理者は、1年毎の認定更新を必要とする。東京と大阪の2会場に分けて開催した。

① 開催日及び場所

10月23日(火) 東京:東京コンファレンスセンター・品川

10月30日(火) 大阪:薬業年金会館

② プログラム

13:15~13:25	挨拶  専務理事 小清水敏昌
13:25~13:40	個人情報保護法に関する新たな対応について 事務局長 水野能文
13:40~14:10	第19回MR認定試験について 試験事業部長 後藤守男
14:10~14:40	医薬品副作用被害救済について 医薬品医療機器総合機構 東京会場:大串賢一氏 大阪会場:桂栄美氏
14:40~15:00	コーヒースタンド
15:00~16:00	補完教育について 教育研修制度の運用について Nikoサービスについて 教育研修部長 松本悦子
16:10~16:30	MR100周年記念行事について 2012年版MR白書について 企画部長 大屋博道
16:30~17:00	管理者認定講習会・管理者認定更新講習会について 諸連絡 総務部長 近澤洋平



③ 受講者数

	東京	大阪
管理者	183名(27名)	64名(5名)
オブザーバー	16名	6名
来賓	3名	2名
合計	202名	72名

( )内は、非登録(複数)の教育研修管理者数

④ 補講の実施

管理者認定更新講習会の欠席者に対しては、次のとおり補講を実施した。

イ. 日時:12月20日(木) 13:15~17:00

ロ. 場所:東京薬事協会・会議室

ハ.人数:4名

5)教育研修責任者会議の開催

① 開催内容

開催日:11月8日(木)

場所:アルカディア市ヶ谷

講演	講師
社会人基礎力を育てる企業文化	法政大学教授 諏訪康雄先生
社会人基礎力とコンピテンシー	ビジネスブレークスルー大学大学院教授 川上真史先生

② 参加者

教育研修責任者	管理者等	合計
146名	34名	180名

6)インストラクター支援講習会の開催

(1)インストラクター研修会

① 開催内容

会場	東京 (アイビーホール)	大阪 (クロスウェーブ梅田)
日程	5月24日(木)~25日(金)	10月25(木)~26日(金)
	6月21日(木)~22日(金)	
	平成25年2月7日(木)~8日(金)	
対象	インストラクター経験の浅い(1年以内)MR研修担当者	
講師	(株)話し方研究所 戸田久実氏	
内容	インストラクターの基本スキルとマインドを学ぶ	

② 参加者

企業数	参加者数	(東京)	(大阪)
43社	93名	73名	20名

(2)MRに対するマナー指導者セミナー（平成24年度より新規実施）

① 開催内容

会場	東京(アイビーホール)		
日程	平成25年2月22日(金)	平成25年3月15日(金)	
対象	導入教育の担当者		
講師	アドットコミュニケーション(株) 戸田久実氏		
内容	MRに求められる基本的なマナー(身だしなみ、言葉づかい)を指導できるようにする		

② 参加者

企業数	参加者数
36社	48名

(3)ファシリテーション研修会

① 開催内容

会場	東京(アイビーホール)		
日程	7月13日(金)	平成25年1月25日(金)	
対象	研修会を効果的に進めたいインストラクター		
講師	PHP研究所 今村恵理氏		
内容	研修ファシリテーションスキルを修得し、効果的な研修を実現する		

② 参加者

企業数	参加者数
19社	47名

(4)教育研修セミナー

① 開催日及び場所

9月14日(金) 品川プリンスホテル

② プログラム

13:00～13:10	挨拶 専務理事 小清水敏昌
13:10～14:20	「学生から医師へと育てる」～医学教育の実際 東京慈恵会医科大学 内科学准教授 古谷伸之先生
14:30～15:10	平成24年度導入教育の実施状況

	アンケート結果報告と参加者意見交換 教育研修部長 松本悦子
15:20～16:20	事例発表 第一三共(株) 木村裕一氏 ヤンセンファーマ(株) 酒井宏治氏 日本化薬(株) 仲尾洋子氏
16:20～17:00	総合討論
17:00～17:15	まとめ 事務局長 水野能文

③ 参加者

企業数	参加者数
81社	145名

(5)トレーナーズ・セミナー入門コース

① 開催内容

会場	東京(アルカディア市ヶ谷)	大阪(クロス・ウェーブ梅田)
日程	10月25日(木) 11月15日(木)	10月31日(水)
対象	新たにMR教育研修トレーナーになった者と教育について基礎から学びたい者。	
講師	(株)サンライトヒューマン代表取締役社長 森田晃子氏	
内容	トレーナー入門者が、効果的なMR教育についての基礎を学び、自社の教育に応用できるようになる。	

② 参加者

企業数	参加者数	東京	大阪
33社	57名	42名	15名

(6)トレーナーズ・セミナー基礎コース

① 開催内容

地区	東京(セミナーハウス フォーリッジ)
日程	10月18日(木)～19日(金) 12月13日(木)～14日(金)
対象	MR教育研修インストラクター
ファシリテーター	(株)サンライトヒューマン代表取締役社長 森田晃子氏
内容	MR教育について、効果的・効率的な教育理論の基礎について理解を深める参加者主体型のセミナー

② 参加者

企業数	参加者数
22社	31名

(7)トレーナーズ・セミナー応用コース

① 開催内容

地区	横浜(オンワード総合研究所)
日程	平成25年2月21日(木)～22日(金)
対象	MR教育研修インストラクター
アドバイザー	国立大学法人熊本大学教授 鈴木克明 先生 (株)サンライトヒューマン代表取締役社長 森田晃子氏
内容	企業におけるMRトレーナーの資質向上を目指してMR教育の手法やカリキュラムなどの質を向上させるための研究会方式のセミナー

② 参加者

企業数	参加者数
17社	33名

5. 出版物の頒布に関する事業(定款第4条第3号関係)

1) MRテキストの頒布

(1) 頒布価格

書籍名	本体価格	税込み
MRテキストⅠ 医薬品情報2012	1,500円	1,575円
MRテキストⅡ 疾病と治療2012(基礎)	1,800円	1,890円
MRテキストⅡ 疾病と治療2012(臨床)	2,100円	2,205円
MRテキストⅢ 医薬概論2012	1,800円	1,890円

(2) 頒布部数

書籍名	頒布部数
MRテキストⅠ 医薬品情報 2012	8,200部
MRテキストⅡ 疾病と治療 2012(基礎)	8,777部
MRテキストⅡ 疾病と治療 2012(臨床)	8,816部
MRテキストⅢ 医薬概論 2012	9,632部

(3) その他の冊子の作成と頒布

- ・MRテキストⅢ 医薬概論 2012 2013年改訂
- ・MR教育研修要綱解説書(2011年10月)
- ・2012年版MR白書—MRの事態及び教育研修の変動—

## 6. 広報活動(定款第4条第1号関係)

### 1) 第15回センター・ミーティングの開催

開催日:東京会場 平成25年2月19日(火)

大阪会場 平成25年2月20日(水)

場 所:東京会場 東京コンファレンスセンター・品川

大阪会場 薬業年金会館

①MR誕生100周年記念論文コンクール受賞者表彰を行った。

特選2名、入選5名、佳作13名、ホープ賞3名

②MR誕生100周年記念事業の総括を行った。

③「わが社が育てる101年目からのMR」をテーマに企業発表を行った。

### 2) 薬科大学での講義

薬剤師のMRに占める割合が年々減少してきていることから、薬科大学で「MRと製薬企業」について講義を行った。

4月26日(木) 慶応義塾大学薬学部

5月26日(土) 城西大学薬学部

6月21日(木) 東京理科大学薬学部

### 3) 日本薬学会第133年会に出展

平成25年3月28日～30日に横浜市(会場:パシフィコ横浜)で開催された、日本薬学会年会においてブース展示し、薬系大学教員や医療関係者にMR職などを紹介した。

### 4) MR誕生100周年記念事業

(1)MR実態調査(アンケート調査)を行った。

医師:2,129名、薬剤師:529名、MRなど:16,827名、一般営業職:1,000名から調査票を回収した。

①MR調査結果発表記者会見 8月10日(金)

MR100周年記念事業の概要 企画部長 大屋博道

MR実態調査、結果発表 専務理事 小清水敏昌

講演「MRという働き方」 花田光世先生(慶応義塾大学教授)

②MRシンポジウムにて発表 8月11日(土)

日本病院薬剤師会関東ブロック第42回学術大会にてパネル発表

(2)MRシンポジウムの開催

テーマ:「これから目指すMRの未来像—MR誕生100周年を迎えて—」

日 時:8月11日(土) 15:00～17:00

会 場:パシフィコ横浜 国立大ホール

学会名:日本病院薬剤師会関東ブロック第42回学術大会

基調講演:

加賀谷肇先生(日本病院薬剤師会関東ブロック第42回学術大会大会長)

MR実態調査結果発表:

小清水敏昌(公益財団法人MR認定センター専務理事)

シンポジウム:

座長 林昌洋先生(虎の門病院薬剤部長)

相馬一亥先生(北里大学病院副院長、救命救急センター部長)

森田雅之先生(神奈川県立汐見台病院診療技術部長、薬剤科科長)

今堀 勝氏(日本製薬工業協会流通適正化委員会委員長)

沼田佳之氏(Monthlyミクス編集長)

全国から1,000名以上のMR及びMR関係者が参加した。

### (3) 市民公開講座の開催

#### ① 東京会場

日 時:9月22日(土)15:00~17:30

場 所:イイノホール(千代田区内幸町)

参加者数:162名

講 演:「健康管理に薬局、薬店を上手に利用しよう」

望月眞弓先生(慶応義塾大学薬学部教授)

「がんと向きあって生きる—予防の重要性—」

垣添忠生先生(日本対がん協会会長、国立がんセンター名誉総長)

#### ② 大阪会場

日 時:10月27日(土)15:00~17:30

場 所:ステラホール(梅田スカイビル・タワーウエスト)

参加者数:97名

講 演:「がんに用いられるくすり—知っておきたい基礎知識—」

阿南節子先生(同志社女子大学薬学部特任教授)

「がんと向きあって生きる—予防の重要性—」

垣添忠生先生(日本対がん協会会長、国立がんセンター名誉総長)

### (4) 「MR100年史」発刊

第1部 通史—MR100年の歩み—

序 章 明治末期から大正時代

第1章 国産化時代から戦前昭和期まで

第2章 戦後の復興期と欧米新薬導入時代

第3章 皆保険と高度成長の昭和30~40年代

第4章 プロパーからMRへ資質向上時代

第5章 MR業務の変革をもたらした時代

第6章 MR6万人時代の平成20年代前半

第7章 望まれるMRを目指して

第2部 回想録・女性MR座談会

第3部 資料編

## (5)MR論文コンクール

目的:MRの職務を振り返り、あらためて考える機会とする。

MR職に自覚と誇りを求める。

テーマ:「私が目指すMR」

募集期間:8月1日～11月30日

表彰:特選2編、入選5編、佳作13編、ホープ賞3編

審査委員会

明石貴雄委員長(東京医科大学病院薬剤部長)

菊池 満委員(日本製薬工業協会流通適正化委員会副委員長)

小清水敏昌委員(公益財団法人MR認定センター専務理事)

田中秀一委員(読売新聞東京本社論説委員)

濱口哲郎委員(大阪医薬品協会教育研修研究会委員長)

福本真理子委員(北里大学薬学部臨床薬学中毒部門准教授)

水野文雄委員(東京医薬品工業協会教育研修研究会会長)

・173編の応募があり、一次審査、二次審査、最終審査委員会を経て入賞作品を決定した。

・入賞作品は小冊子「私が目指すMR」として12,000部発行した。

## 8. 委員会の開催

### 1)試験委員会

(p3を参照)

### 2)教育研修委員会

(p5を参照)

### 3)補完教育小委員会

(p5を参照)

## 9. その他

### 1)MRに関するセンター懇談会の開催

目的:各団体と今後のMR教育のあり方やその方法論等について意見交換する

参加者:菊池 満委員 日本製薬工業協会流通適正化委員会 副委員長

水野文雄委員 東京医薬品工業協会教育研修研究会 研究会長

濱口哲郎委員 大阪医薬品協会教育研修研究会 委員長

松本研一委員 日本ジェネリック製薬協会信頼性向上プロジェクト

MR教育研修担当リーダー

河島数明委員 日本医薬品直販メーカー協議会教育研修委員会 委員長

	第1回	第2回
日時	6月22日(金)	平成25年1月30日(水)

	15:00～17:00	15:00～17:00
場 所	東京薬事協会204会議室	東京薬事協会204会議室
テーマ	各団体の取り組み紹介	上級MRに関する経緯と課題 カリキュラム委員会への協力依頼

以上